製品安全データーシート

1. 製品及び会社情報

① 製品の名称 ： NIプライマー
② 会社名 ： 秩父コンクリート工業株式会社
③ 住所 ： 東京都荒川区東日暮里 1-5-7
④ 担当部門 ： 営業本部
⑤ 電話 ： 03-5850-2671
⑥ FAX ： 03-5850-2673
⑦ 緊急連絡先 ： 生産本部 熊谷工場 048-521-2161
⑧ 推奨用途及び使用上の制限 ： 建築用プライマー
⑨ 作成・改定日 ： 2010年10月12日

2. 危険有害性の要約

GHS分類		区分
引火性液体		区分2
急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分5
	吸入（ガス）	分類できない
	吸入（蒸気）	区分5
	吸入（粉塵及びミスト）	区分2
皮膚刺激性/腐食性		区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性		区分2
呼吸器感作性		区分1
皮膚感作性		区分1
生殖細胞変異原性		区分2
発癌性		区分2
生殖毒性		区分1
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）		区分1
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）		区分1
吸引性呼吸器有害性		分類できない
水性環境有害性（急性）		区分2
水性環境有害性（慢性）		区分3

ラベル要素

注意喚起語 危険

危険有害情報

引火性の高い液体および蒸気
皮膚に接触すると有害のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
吸入すると生命に危険

遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
水性生物に毒性
長期的影響により水性生物に有害
臓器（呼吸器系、肝臓、腎臓、中枢神経系）の障害
呼吸器の刺激のおそれ
長期または反復暴露による臓器の障害
長期にわたる、または、反復暴露による臓器を損傷
（呼吸器系、肝臓、腎臓、末梢神経系、中枢神経系、神経系）

注意書き

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手する。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用する。
火花を発生しない工具を使用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸収しない。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
必要な時以外は、環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
汚染された作業衣は作業場から出さない。
取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行う。
呼吸用保護具を着用する。
保護手袋および保護メガネ/保護面を着用する。
必要に応じて個人用保護具を使用する。

《応急措置》

吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡する。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受ける。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除くこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
暴露した場合：医師に連絡すること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
特別措置が緊急に必要である。

《保管》

涼しい所/換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

《廃棄》

内容物/容器は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

有害性	：	知見なし
環境影響	：	知見なし

物理的及び化学的危険性　：　強い引火性がある。熱、火花及び火災で着火することがある。
重要な徴候　：　特になし
想定される非常事態の概要　：　特になし
国/地域情報　：　引火性液体

3. 組成成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物
化学名または一般名　：　ポリイソシアネート類溶液

濃度または濃度範囲

化学名または一般名	略　号	濃度又は濃度範囲	管報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
酢酸エチル	－	65－75%	－	－	141-78-6
エチルベンゼン	－	3%	－	－	100-41-4
キシレン	－	3%	－	－	1330-20-7
トルエン	－	2.4%	－	－	108-88-3
メチルエチルケトン	－	1－5%	－	－	78-93-3

法規制対象成分

成　分	安 衛 法	PRTR 法
酢酸エチル	表示対象物/通知対象物	指定化学物質に該当しない
エチルベンゼン	通知対象物	第一種指定化学物質第 53 号
キシレン	表示対象物/通知対象物	第一種指定化学物質第 80 号
トルエン	表示対象物/通知対象物	第一種指定化学物質第 300 号
メチルエチルケトン	表示対象物/通知対象物	指定化学物質に該当しない

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物　：　特になし

4. 応急処置

眼に入った場合
- 直ちに大量の清浄な流水で 15 分間、洗い流す。
- 上下の瞼を持ち上げることにより、眼の完全な洗浄を行う。
- 眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
- できるだけ早急に医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合
- 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
- 必要であれば衣類、靴などを切断する。
- 製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。
- 大量の水及び石鹸にて十分に洗浄する。溶剤、シンナーは使用しない。
- 外観に変化が見られたり、痛み等の刺激があれば医師の診断を受けること。

吸入した場合
- 蒸気、ガス、粉塵、燃焼生成物等を吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静に休ませる。
- 入れ歯をしている場合には外すこと。嘔吐物は飲み込ませないこと。
- 呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。
- 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 当該ＭＳＤＳやラベルを医師に示し、診断を受けること。

飲み込んだ場合
- 無理に吐かせてはならない。
- 安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- 必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

・ 被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。
・ 嘔吐物がある場合、気道確保のため、患者をうつ伏せにするか、左側を下にして寝かせ、嘔吐物を飲み込まないようにする。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護
・ 汚染された衣類や保護具を取り除く。
・ 救助者が有害物質に触れたり、吸入しないよう適切な保護具を使用するなど注意する。
・ 適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [○]

使ってはならない消火剤

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

水（棒状水、高圧水）

消火作業者用の特別な保護具と予防措置
・ 消火作業は可能な限り風上から行う。
・ 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
・ 周囲の設備等に散水して冷却する。
・ 消火のための放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。
・ 可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。
・ 指定の消火剤を使用すること。
・ 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用すること。
・ 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置
・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
・ 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。
・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
・ 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を使用する。
・ 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。
・ 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する予防措置
・ 流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。
・ 河川への排出により、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和、封じ込めおよび浄化方法と機材
・ 火花が発生しない安全な用具を使用する。
・ 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
・ 大量の流出時には乾燥砂、土、で囲い流出を阻止する。
・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・ 付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をすること。
・ 衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置
・ 取扱いは、換気のよい場所で行う。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
・ 取扱い作業は火気のない所で行い、局所排気装置を設ける。

・ 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。
・ 取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
・ 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・ 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。
・ 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
・ 炎、火花、高温体との接触を避ける。

安全な保管条件（配合禁忌等）
・ 火気厳禁
・ 適切な容器包装材料にて保管する。
・ 容器を密閉して、直射日光を避け換気のよい冷暗所に保管する。
・ 保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。
・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

許容濃度、管理濃度（職業的暴露限界値、生物学的限界値）

成分名	管理濃度	許容濃度		
酢酸エチル	200ppm	400ppm	TWA	ACGIH
酢酸エチル		1440mg/m3	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	設定されていない	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン		434mg/m3	TWA	ACGIH
キシレン	50ppm	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン		434mg/m3	TWA	ACGIH
トルエン	20ppm	50ppm	TWA	ACGIH
トルエン		180mg/m3	TWA	ACGIH
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm	TWA	ACGIH
メチルエチルケトン		590mg/m3	TWA	ACGIH

設備対策
・ 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
・ 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
・ 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。

保護具
呼吸器の保護　：　必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク等を着用する。
その有害性物質に対して適切な保護のできる保護マスクを着用する。
手の保護具　：　保護手袋を着用する。
有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護　：　保護メガネまたは防災面を着用する。
皮膚の保護　：　保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。
取扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

外観	:	液体	色	:	淡黄色半透明
臭気	:	溶剤臭	pH	:	－
融点	:	－ ℃	凝固点	:	－ ℃
沸点　（製品）	:	77 ℃	引火点	:	－5 ℃
発火点（自然発火温度）	:	427 ℃	比重	:	0.94 g/㎤
爆発限界（上限）	:	12.5vol %	爆発限界（下限）	:	0.9vol %

蒸気圧	:	－ Pa	溶解度	:	－
オクタノール/水分配係数	:	－	動粘性率	:	－ ㎟/s
密度	:	－ g/㎤			

10. 安定性および反応性

・保管の項目記載の保管条件で安定。
・有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。
・強酸、強アルカリと反応するおそれがある。
・直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性

酢酸エチル	5,000 以上 mg/kg	経口ラット（LD50）	ACGIH
酢酸エチル	57.6		ACGIH
酢酸エチル	14,620 ppm		DFGOT
酢酸エチル	90,000 mg/㎥	吸入マウス（LC50）	日本塗料工業会
エチルベンゼン	3,500 mg/kg	経口ラット（LD50）	EHC
エチルベンゼン	4,769 mg/kg	経口ラット（LD50）	ATSDR
エチルベンゼン	15,400 mg/kg	経皮ラビット（LD50）	ACGIH
エチルベンゼン	17.2 mg/l	吸入ラット（LC50）	ATSDR
エチルベンゼン	4,000 ppm	吸入ラット（LC50）	ATSDR
キシレン	3,500 mg/kg	経口ラット（LD50）	CaPSAR
キシレン	4,300 mg/kg	経口ラット（LD50）	環境省リスク評価
キシレン	29.08 mg/l-4hr	吸入ラット（LC50）	環境省リスク評価
キシレン	20,000 ppm	吸入ラット（LC50）	日本塗料工業会
トルエン	4,800 mg/kg	経口ラット（LD50）	
トルエン	12,000 mg/kg	経皮ラット（LD50）	ACGIH
トルエン	14,100 mg/kg	経皮ラビット（LD50）	EHC
トルエン	18 mg/l	吸入ラット（LC50）	
トルエン	2,600 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	5,500 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	5,580 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	5,900 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	6,400 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	7,000 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	7,530 mg/kg	経口ラット（LD50）	EU-RAR
トルエン	12.5 mg/l-4hr	吸入ラット（LC50）	EU-RAR
トルエン	28.1 mg/l-4hr	吸入ラット（LC50）	EU-RAR
トルエン	28.8 mg/l-4hr	吸入ラット（LC50）	EU-RAR
トルエン	33 mg/l-4hr	吸入ラット（LC50）	EU-RAR
トルエン	4,800 ppm	吸入ラット（LC50）	
トルエン	196,000 mg/㎥	吸入ラット（LC50）	日本塗料工業会
メチルエチルケトン	5,520 mg/kg	経口ラット（LD50）	EHC
メチルエチルケトン	2,737 mg/kg	経口ラット（LD50）	PATTY
メチルエチルケトン	2,884 mg/kg	経口ラット（LD50）	PATTY
メチルエチルケトン	＞5,000 mg/kg	経皮ラビット（LD50）	PATTY
メチルエチルケトン	＞8,000 mg/kg	経皮ラビット（LD50）	EHC
メチルエチルケトン	13,000 mg/kg	経皮ラビット（LD50）	PATTY
メチルエチルケトン	11,700 ppm/4H	吸入ラット（LC50）	EHC
メチルエチルケトン	2,483 mg/kg	経口ラット（LD50）	PATTY

皮膚腐食性/刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	:	データなし
呼吸器感作性/皮膚感作性	:	データなし
変異原性（生殖細胞変異原性）	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器/全身毒性-単回暴露	:	データなし
特定標的臓器/全身毒性-反復暴露	:	データなし
吸引性呼吸器有害性	:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類　：

キシレン	3.3 mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE 有害性評価書
メチルエチルケトン	＞100 mg/l-96hr	ヒメダカ（LC50）	環境省生態影響試験

甲殻類　：

酢酸エチル	164 mg/l-48hr	ミジンコ	IUCLID
エチルベンゼン	0.4 mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	CERI・NITE 有害性評価書
トルエン	3.5 mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	EU-RAR

藻類　：　データなし

残留性/分解性	:	データなし
生態蓄積性	:	データなし
土壌中の移動性	:	データなし
他の有害影響	:	漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- 大量廃棄の場合、産業廃棄物処理業者に引取りを依頼する。
- 少量廃棄の場合、焼却炉を用いて焼却する。
- 廃塗料などを焼却する場合には珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生するおそれがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
- 特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、産業物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　1263

国連分類　：　3：引火性液体

特別の安全対策

共通	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件：

火気厳禁
輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

応急措置指針番号：
128：塗料（引火性）

15. 適用法令

〈製品〉

労働安全衛生法	：	施工令別表 1-4　引火性の物
有機溶剤中毒予防規則	：	第２種有機溶剤
消防法	：	第２条危険物　別表第４類　引火性液体（第１石油類・非水溶性液体）
〈酢酸エチル〉	：	悪臭法令１条
〈キシレン〉	：	悪臭法令１条
〈トルエン〉	：	悪臭法令１条

16. その他情報

主な引用文献

- GHS 対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック（日本塗料工業会）
- NITE　化学物質総合情報システム
- 原材料 MSDS

※　注意

製品安全データーシートは危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業所は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる事が必要である事を理解した上で、活用されるようお願いします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。 また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、 用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは、安全の保証書ではありません。

以上